

内分泌内科

Endocrinology

部長	源馬理恵子	S57	日本内科学会認定内科医 日本内分泌学会内分泌代謝科専門医・指導医 日本糖尿病学会専門医、日本甲状腺学会専門医 日本内分泌学会代議員・日本甲状腺学会評議員
主任医長	柏原裕美子	H09	日本内分泌学会専門医 日本糖尿病学会専門医 日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医 日本甲状腺学会専門医
医長	青山佐恵佳	H15	日本内科学会認定内科医
医員	野村瞳	H18	
専門医研修医	池谷章	H19	日本内科学会認定内科医

■研修カリキュラム

【一般目標 General Instruction Objective : GIO】

糖尿病患者の病態を評価し、治療方針をたて、治療にあたる。

下垂体・甲状腺・副腎などの内分泌疾患の診断のための、検査計画をたて、結果を評価し、治療する。

【行動目標 Structural Behavior Objectives : SBOs】

1年次

- ① 指導医の指導の下に、クリニカルパスに沿った糖尿病教育入院患者の検査とその評価、治療方針の決定、患者教育ができる。
指導医の指導の下に以下のことができる。
 - ・ 皮膚の観察や、神経学的所見をとり、皮膚(足)病変、神経障害につき評価できる。(知識)
 - ・ 膵インスリン分泌能、腎機能、動脈硬化などにつき、必要な検査を行い評価できる。(知識)
 - ・ 眼科的検査、診察を依頼し評価できる。(解釈)
 - ・ 内服薬の選択・調整ができる。(問題解決)
 - ・ インスリン導入の判断・インスリンの選択・調整ができる。(問題解決)
 - ・ 適切な食事内容の指示ができ、栄養士とともに食事指導ができる。(問題解決)
 - ・ 運動療法を行ってよいかどうかの判断ができ、運動処方ができる。(問題解決)
- ② 指導医の指導の下に、感染症などのシックデイで入院してきた患者の輸液管理、インスリン療法(インスリンスライディングスケール)ができる。(問題解決)
- ③ 指導医の指導の下に、合併症を有する患者の合併症の治療方針を立て、治療ができる。(問題解決)
- ④ 指導医の指導の下に、合併症を有する患者の血糖コントロールが適切にできる。(問題解決)
- ⑤ 指導医の指導の下に、妊娠合併2型糖尿病患者や妊娠糖尿病症例で、妊娠前、妊娠中の適切な血糖管理が行える。(問題解決)
- ⑥ 指導医の指導の下に、低血糖に対する正しい対応が出来る。(問題解決)
- ⑦ 指導医の指導の下に、糖尿病性昏睡の病態把握のための検査とその評価ができ、治療を行うことが出来る。(問題解決)
- ⑧ 指導医の指導の下に、甲状腺エコーと細胞診が施行できる。(技能)
- ⑨ 指導医の指導の下に、甲状腺機能異常の診断、治療方針がたてられる。(解釈)

- ⑩ 指導医の指導の下に、副腎疾患の検査計画たて、結果の評価ができ、治療方針がたてられる。(解釈)
- ⑪ 指導医の指導の下に、下垂体疾患の検査計画をたて、結果の評価ができ、治療方針がたてられる。(解釈)

2年次

- ① クリニカルパスに沿った、糖尿病の教育入院患者の検査とその評価が出来る。また、治療方針の決定や患者教育をおこない、その効果が評価できる。
 - ・皮膚の観察や、神経学的所見をとり、皮膚(足)病変、神経障害につき評価できる。(解釈)
 - ・膵インスリン分泌能、腎機能、動脈硬化などにつき、必要な検査を行い評価できる。(解釈)
 - ・眼科的検査、診察を依頼し評価できる。(解釈)
 - ・内服薬の選択・調整ができ、その効果を評価できる。(問題解決)
 - ・インスリン導入の判断・インスリンの選択・調整ができ、その効果を評価できる。(問題解決)
 - ・適切な食事内容の指示ができ、栄養士とともに食品交換表の利用方法につき指導ができ、その効果を評価できる。(問題解決)
 - ・運動療法を行ってよいかどうかの判断ができ、運動処方ができる。(問題解決)
 - ・インスリン自己注射(およびその関連事項)について理解し、指導が出来る。(技能)
 - ・血糖自己測定機器について理解でき、患者指導が出来る。(技能)
- ② 感染症などのシックデイで入院してきた患者の輸液管理、インスリン療法(インスリンスライディングスケールをもちいて)ができる。(問題解決)
- ③ 合併症を有する患者の治療方針を立て、治療を行い、その効果を評価できる。(問題解決)
- ④ 合併症を有する患者の血糖コントロールを行いその効果を評価できる。(問題解決)
- ⑤ 妊娠合併2型糖尿病患者や妊娠糖尿病症例で、妊娠前、妊娠中の適切な血糖管理を行い、その効果を評価できる。(問題解決)
- ⑥ 指導医の指導の下に1型糖尿病合併妊娠の適切な、妊娠前・妊娠中の血糖管理を行いその効果を評価できる。(問題解決)
- ⑦ 低血糖に対する正しい対応が出来る。その予防のための患者指導が出来る。(問題解決)
- ⑧ 糖尿病性昏睡の病態把握のための検査とその評価ができ、治療を行いその効果を評価できる。(問題解決)
- ⑨ 糖尿病教室で担当項目につき講義内容を考え、講義できる。(技能)
- ⑩ スタッフミーティングに参加し、与えられた役割を果たすことが出来る。(態度)
- ⑪ 甲状腺エコーと細胞診が施行でき、結果を評価できる(解釈)
- ⑫ 指導医の指導の下で甲状腺機能異常の診断、治療を行う。(問題解決)
- ⑬ 指導医の指導の下で副腎疾患の検査計画たて、結果の評価ができ、治療方針に沿った治療を行う。(問題解決)
- ⑭ 指導医の指導の下で下垂体疾患の検査計画をたて、結果の評価ができ、治療方針に沿った治療を行う。(問題解決)

3年次

- ① 高齢者や自己管理困難例に対して、問題点を明らかにし、実行可能な目標設定をし、指導が実践できる。また、その効果を評価できる。(問題解決)
- ② 2次性・遺伝性の糖尿病につき、高血糖の病態が評価でき、適切な治療方針を立て、実践できる。また、その効果を評価できる。(問題解決)
- ③ 1型糖尿病合併妊娠の適切な、妊娠前・妊娠中の血糖管理が行い、その効果を評価できる。(問題解決)
- ④ 血糖コントロールが不安定な1型糖尿病患者の、問題点を明らかにし適切な治療方針をたて、その効果を評価できる。問題点につき患者指導が出来る。(問題解決)
- ⑤ 病診連携の必要性が理解でき、指導医と協力して、地域の診療所との病診連携が適切にでき、症例検討会・勉強会の企画&運営が出来る。(態度)
- ⑥ スタッフミーティングの必要性が理解でき、指導医と協力して企画&運営が出来る。(態度)
- ⑦ 甲状腺エコーと細胞診の結果により治療を行う。(問題解決)

- ⑧ 甲状腺機能異常の診断、治療をおこなう。(問題解決)
- ⑨ 副腎疾患の検査計画たて、結果の評価ができ、治療方針に沿った治療をおこなう。(問題解決)
- ⑩ 下垂体疾患の検査計画をたて、結果の評価ができ、治療方針にそった治療を行う。(問題解決)

【方略 Learning Strategies:LS】

No.	SBO	方法	時期	場所	時間	媒体	指導協力者
1	1-①-⑪(⑧除く) 2-①-⑭(⑩除く) 3-①-⑩(⑦除く)	実技研修	当科全研修期間	病棟	1日	患者・診療録	指導医
2	1-⑧ 2-⑪ 3-⑦	実技研修	週1～2回	エコー室	2時間	患者・エコー	指導医
3	1-①-⑪(⑧除く) 2-①-⑭(⑩除く) 3-①-⑩(⑦除く)	カンファレンス	週1回	病棟ミーティングルーム	2時間	診療録・画像・文献	指導医 講師

【評価 Evaluatiton:EV】

SBO	対象領域	目的	方法	測定者	時期
1-①-⑪(⑧除く) 2-①-⑭(⑩除く) 3-①-⑩(⑦除く)	知識・解釈・問題解決	形成的評価	他者評価 診療録監査	指導医	終了時
1-⑧ 2-⑪ 3-⑦⑤	技能	形成的評価	直接観察法	指導医	終了時

【週間スケジュール】

	月	火	水	木	金	土
午前	病棟診療 DM 教室参加(随時)	病棟診療	病棟診療	病棟診療	病棟診療	病棟診療
午後	甲状腺エコー カンファ	病棟診療 甲状腺エコー	病棟診療	病棟診療	病棟診療	

2年次以降は、週半日～1日外来診療